



2022年 11月20日 (日) 13:30 ~ 15:30

言語保持と社会変化に対応する イヌイットの女性たち



70才からの冒険

カナダの一事例から
“教育・ジェンダー・共生”を考える

講師：長谷川 瑞穂*



左は長谷川瑞穂、右はイヌイットのハネさん(イカルイトにて)

大学女性協会では、“教育・ジェンダー・共生”をさまざまな角度から議論してきました。いずれも日本が中心でしたが、今回の講演ではカナダの事例を通して考察したいと思います。

まず「共生」ですが、日本でも増加しつつある外国にルーツを持つ方や、先住民として最近認定されたアイヌなどとの共生の問題がありますが、日本は世界的に見ても日本人が大多数の単一民族国家です。カナダは移民、先住民なども多い多民族国家であり、世界に先駆けて「多文化主義法」を制定した国です。しかし、特に先住民との共生はなかなか難しく、彼らの文化や言語に理解を示しつつも現実にはそれらの保持が難しく、真の共生も困難な状況です。

先住民のイヌイットは、1950年ごろからの定住化政策、学校教育など急激な変化を経験しました。その中で従来の性役割に大きな変化が現れました。

教育に関して、イヌイットは女性の方がやや高学歴で、社会的にもよい職を得ることが多くなっています。言語保持に関するバイリンガル教育は難しいのですが、女性の方が明らかにうまく対応しているという結果が出ています。

この講演では、楽しい時間になるよう、スライドで、実際に現地で行った調査や写真を交えて、なるべく分かりやすくお話しします。データをもとに、言語保持、社会変化への女性の対応を見て、ジェンダーと共生の問題を皆さまで考えていきたいと思っています。(長谷川)

*はせがわみずほ：東京外国語大学博士後期課程修了、博士(学術)。専門は言語学。元東洋学園大学教授。
2020年4月から2022年3月まで大学女性協会理事、東京支部長。

お申し込み先

グーグルフォーム
Google

受付 10月10日-11月18日 (無料、会員以外の方も参加可能です)

以下の登録フォームにアクセス、氏名とメールアドレス等をご記入後、送信ボタンを押してください。

<https://forms.gle/rk6Pz27vsHjajvLM6>

● 開催数日前にメールにてZOOMのURLをお送りします。

お問い合わせ：東京支部講演会担当 Email：masako@c02.itscom.net

(中山正子) Tel:045-541-2481 携帯:090-6514-8135



★ZOOM 未経験者の方のための練習会も行っています。上記の中山までお問い合わせください。

主催：一般社団法人 大学女性協会 東京支部